

授業科目	*基礎助産学 I				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	田中 満由美							
授業概要	<p>本科目では、助産に関連する概念と理論、助産師の歴史、法的な位置づけ、専門職としての責務を学び、助産師としての自覚を促す。さらに、倫理的課題に対する倫理的意思決定への支援方法について学ぶ。少子化社会の中で求められている助産師の役割とリプロダクティブ・ヘルスケアと医療チームや関連機関等との連携・調整の必要性について理解する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の基本概念と助産に関連する理論の概要について説明できる。 2. 日本における助産師の責務と役割、法的な位置づけについて説明できる。 3. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの基本となる考え方について説明できる。 4. わが国の母子保健の動向と課題を他国と対比させて説明できる。 5. 助産実践の倫理的課題を説明できる。 6. 助産師教育や助産の方向性について考えることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	10	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80						80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				10			10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的行動目標に加えて、リプロダクティブ・ヘルスケアと医療チームや関連機関等との連携・調整について理解し説明できる。				行動目標1～6について理解し説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>テーマ:助産の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産の起源と出産の変遷 ・助産の定義 ・助産の意義・本質 ・助産の対象 ・助産の将来 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。助産師業務要覧基礎編第1章、第4章を予習しておく。	60
2	<p>テーマ:リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義 ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツと諸問題と課題 ・ジェンダー・性差医療 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。助産師業務要覧基礎編第5章を予習しておく。	60
3	<p>テーマ:助産師の定義と業務</p> <p>助産師の定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師看護師法 <p>助産師の業務・債務と今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師看護師法からみた助産師の業務と義務・罰則 ・医療法からみた助産師の業務 ・関連法規・諸制度 ・これからの産科医療と助産師の働き方 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。助産師業務要覧基礎編第1章、第4章を予習しておく。	60
4	<p>テーマ:助産学を支える理論と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産実践を支える理論 ・対象を理解するための理論他 <p>テーマ:助産師と倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師と生命倫理 ・助産師と職業倫理 ・倫理綱領を支える研究 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。助産師業務要覧基礎編第3章を予習しておく。	60
5	<p>テーマ:母子保健の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健の歴史 ・母子保健の動向と諸制度 ・母子保健の基盤整備 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。母子保健の主なる統計、わが国の母子保健に目を通しておく。	60
6	<p>テーマ:助産の歴史と文化</p> <p>助産の変遷①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代から江戸時代 ・明治から昭和時代 ・わが国の助産習俗 ・諸外国の助産 ・助産の文化論 	講義	予習:担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。 復習:該当部分を教科書・参考図書も活用し学習を深める。	60
7	<p>テーマ:助産の歴史と文化</p> <p>助産の変遷②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代から江戸時代 ・明治から昭和時代 ・わが国の助産習俗 ・諸外国の助産 ・助産の文化論 	講義	予習:担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。 復習:該当部分を教科書・参考図書も活用し学習を深める。	60
8	<p>テーマ:助産師と教育</p> <p>わが国の助産師教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師教育の変遷 ・助産師の卒後教育 <p>諸外国における助産師教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の助産師教育の特徴 ・卒後教育 	講義・ディスカッション	担当の範囲を教科書や図書館を利用して学習を深める。	60
9				

10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	助産学の基本理論領域で重要な科目です。広い分野に応用できる内容であるため積極的な姿勢で取り組んでください。			
テキスト	助産学講座 基礎助産学[1]助産学概論 我部山キヨ子他編 医学書院 母子保健の主なる統計 母子衛生研究会 わが国の母子保健 母子衛生研究会 厚生指標、国民衛生の動向 厚生労働統計協会 助産師業務要覧 3版 基礎編・実践編 福井トシ子編 日本看護協会出版会			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	保健師助産師看護師法 第2版 田村やよい著 日本看護協会出版会 女性看護学 メディカルフレンド社 女性生涯看護学 真興交易(株)医書出版部 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ メディカ出版 その他参考文献は授業の中で紹介します。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	母性看護学概論と一部関連づけて展開します。十分復習と予習をして講義にのぞんでください。
達成度評価に関するコメント	試験及びレポート、発表 詳細については、授業の中で提示します。